

令和8年度 田辺中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

Ⅰ 全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT=Computer Based Testing）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率 (%)		平均無解答率 (%)		平均IRTスコア 英語4技能 () 内は3技能 (参考)
			国語	数学	国語	数学	
3 年	学校	191	67	66	2.2	4.9	550 (550)
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499 (499)
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499 (499)

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

【成果】

- ・国語・数学・英語の全教科において、全国の平均を大幅に上回っている。
- ・国語において、「書くこと」の領域における表現力が極めて高く、全国平均を大きく上回っている。
- ・数学において、すべての領域で全国平均を大きく上回っており、数学的な基盤が非常に強固である。
- ・英語において、約半数の生徒が上位水準であるIRTバンド4・5に到達している。
- ・家庭の社会経済的背景が低い低い状況でも「探究的な学びのプロセス」が回せている生徒は「正答数・IRTスコア」が高い傾向が見られる。
- ・教師サポートと心理的安全性により、深い学びが推進され、学校への満足度が高まる可能性が示唆される。

【課題】

- ・国語において、文脈に即して正しく漢字を書き、文章の中で使うことに課題が見られる。
- ・数学において、データの傾向を読み取り、言葉にして説明することに課題が見られる。
- ・英語において、短い文章を読み、要点を捉え、その理由を書くことに課題が見られる。
- ・多くの生徒（約9割）は読書は役に立つと感じているが、読書の時間が取れていない。

※詳細な分析については、「大阪市立田辺中学校調査結果と課題分析」に記載している。

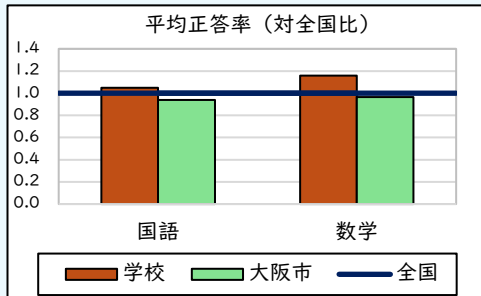
今後に向けて

- ・引き続き、教師のサポートと子どもたちの心理的安全性を確保し、深い学びを推進していく。
 - ・朝の読書活動と学校元気アップ視写の取組を、「言葉を育てる時間」に再定義する。
 - ・探究的な学びを推進するとともに、「問いをつくる力」を育て探究的な学びの質を高めていく。
- ⇒「自分らしく未来を切り拓く力」を育成する教育活動の推進

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

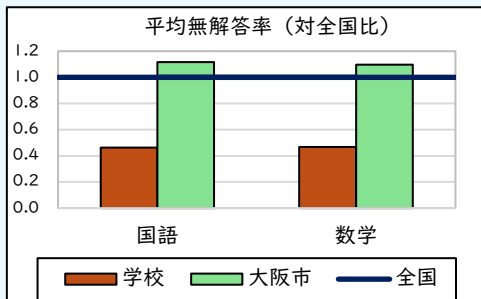
平均正答率（％）

	国語	数学
学校	67	66
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0



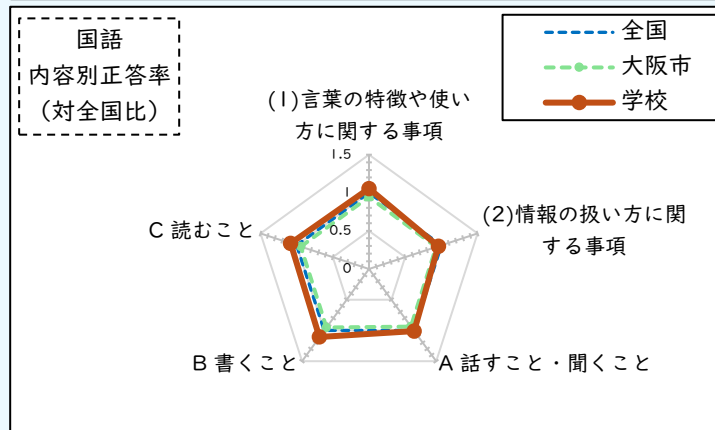
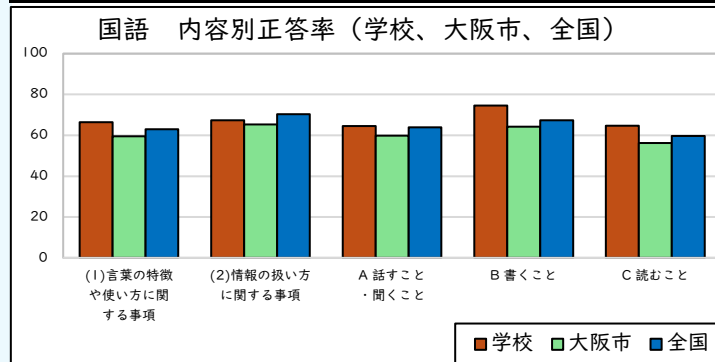
平均無解答率（％）

	国語	数学
学校	2.2	4.9
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4



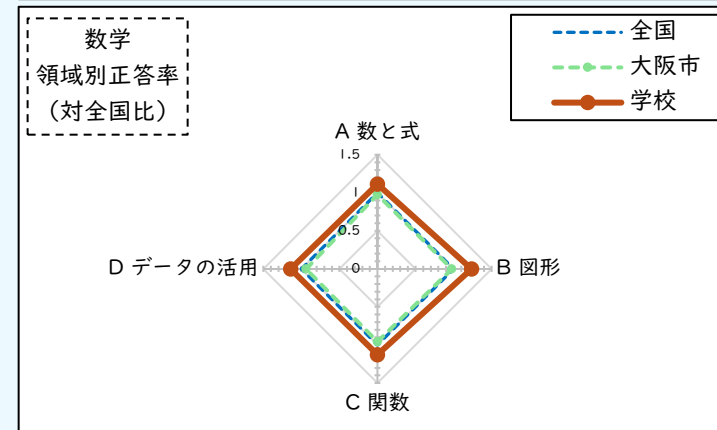
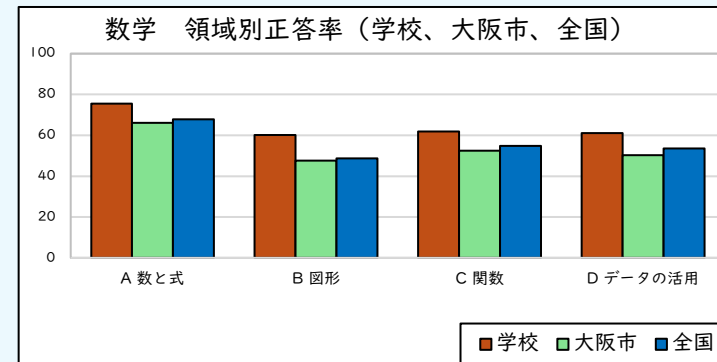
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	66.5	59.5	63.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	67.4	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	64.6	59.9	63.9
B 書くこと	3	74.6	64.2	67.4
C 読むこと	3	64.7	56.3	59.7



【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	75.5	66.1	67.8
B 図形	4	60.2	47.6	48.7
C 関数	3	61.8	52.5	54.8
D データの活用	4	61.1	50.2	53.5



令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（英語）

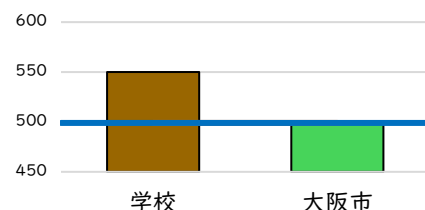
英語 平均IRTスコア

学校	550 (550)
大阪市	499 (499)
全国	499 (499)

※ 4技能の平均IRTスコアです

※ () 内は3技能の平均IRTスコアです

平均IRTスコア 英語 4技能



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

導入する年（中学校英語は令和8年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

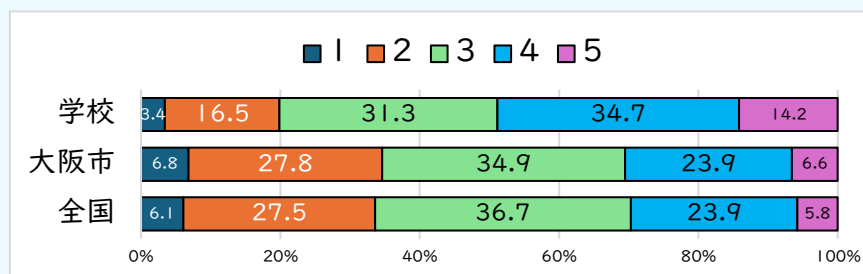
※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTバンド分布比較（4技能）

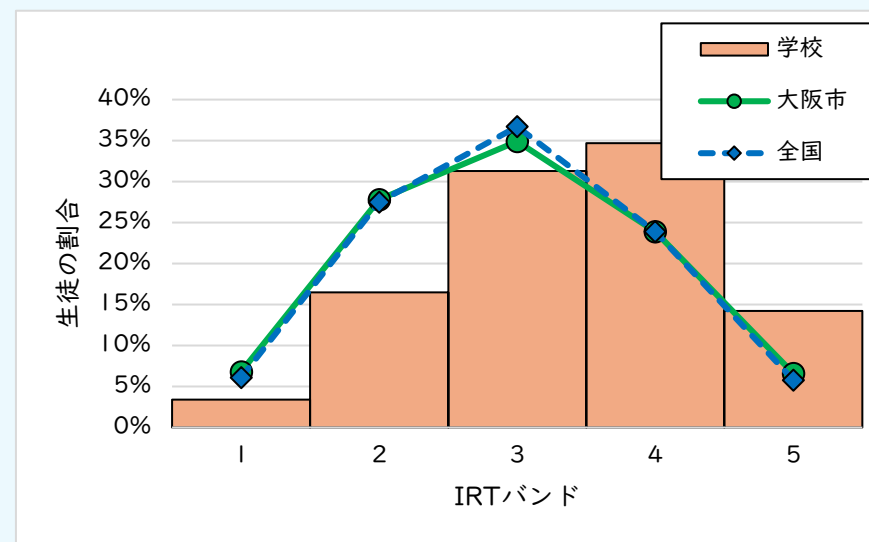
	1	2	3	4	5
学校	3.4	16.5	31.3	34.7	14.2
大阪市	6.8	27.8	34.9	23.9	6.6
全国	6.1	27.5	36.7	23.9	5.8

※ 4技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（4技能）



IRTバンド分布グラフ（4技能）



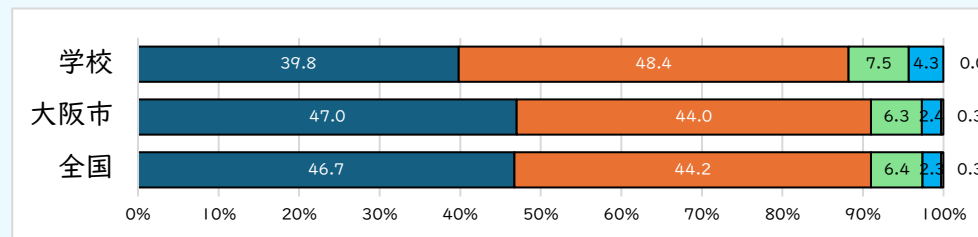
生徒質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

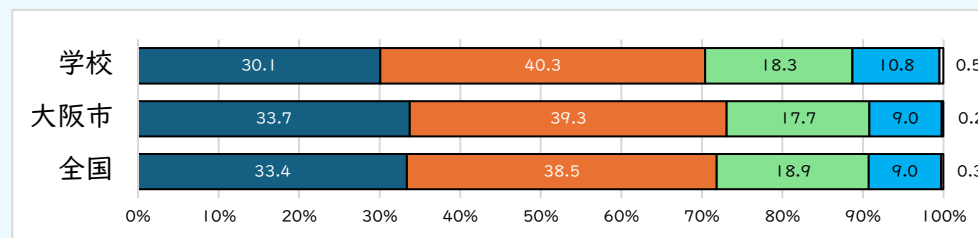
質問番号 質問事項

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



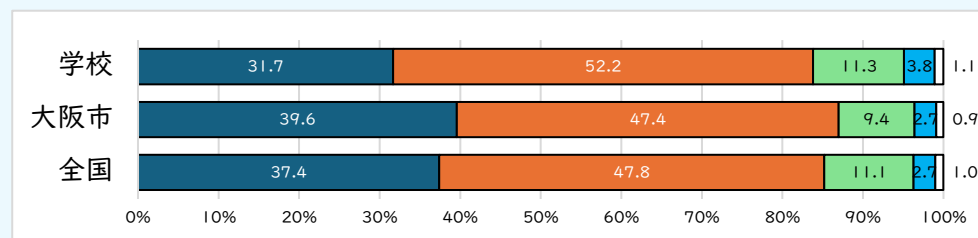
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(13) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



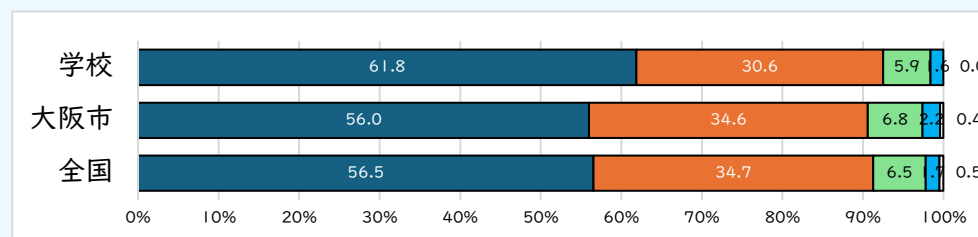
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(45) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



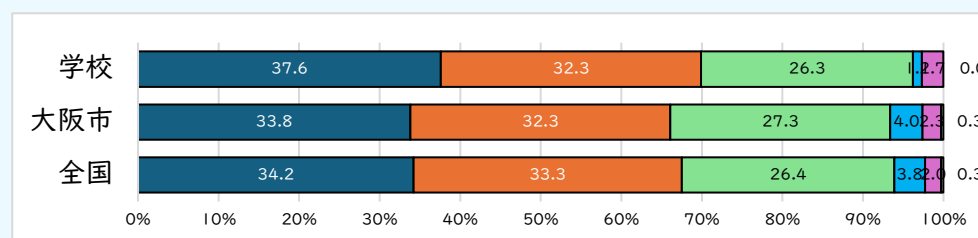
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(17) 友達関係に満足していますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(20) あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば、当てはまらない
5 当てはまらない

学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

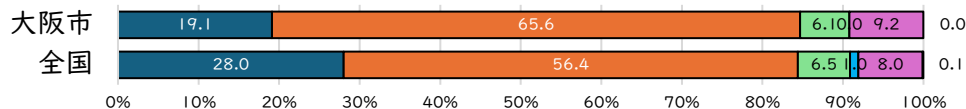
質問番号

質問事項

(87)

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

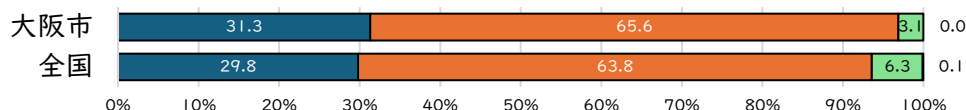


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない
- 5 取組を行わなかった

(92)

令和7年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

【学校の回答】 2 行った



- 1 よく行った
- 2 行った
- 3 ほとんど行わなかった

